



10月26日 社会福祉協議会



10月29日 たばこ振興会、役場職員、議会議員



11月7日 青年会



11月18日 老人会

TOPIX
トピックス

大量の軽石漂流・漂着!

国や県へ対策を要請…………… p10



第3弾タッチん商品券
楽しみタッチん (P10)

◆ 令和2年度の決算は黒字・赤字決算!? p2~p4

◆ あの質問・質疑どうなった!?…………… p14

決算

令和3年第7回(9月)定例会を3日間の会期で行いました。
 本定例会では、令和2年度各会計の決算認定や令和3年度一般会計及び特別会計補正予算等18議案を審議しました。(※P12参照)
 令和2年度決算の認定にあたっては、決算審査特別委員会(※P5参照)を設置し、付託された各会計決算の議案について、慎重に審査を行いました。
 その結果、付託された6会計決算すべて『認定すべきもの』と決定しました。

令和2年度 歳入歳出決算額表

会計別	予算現額(千円)	A 収入済額(円)	B 支出済額(円)	A-B 差引残高(円)	令和元年度 比較増減(円)
一 般	9,024,016	8,340,525,258	8,182,385,781	158,139,477	▲ 59,302,767
診療所	367,284	366,570,982	358,085,562	8,485,420	▲ 1,508,463
国 保	955,707	961,324,562	945,268,198	16,056,364	▲ 51,063,023
後期高齢者	66,684	66,308,536	65,874,491	434,045	53,722
水 道	199,356	181,488,600	175,879,656	5,608,944	▲ 6,118,666
船 舶	665,073	728,536,089	787,420,168	▲ 58,884,079	96,362,360
合 計	11,278,120	10,644,754,027	10,514,913,856	129,840,171	42,086,732

村債(借入金)残高の推移

平成30年度

41億6,372万円

令和元年度

42億8,372万円

令和2年度

42億143万円

令和2年度は村の借金が8,229万円の減となりました。

Q 村民1人당 に使われたお金はいくら?



1人당 たり

1,851,219円



1世帯당 たり

3,630,162円

※一般会計歳出決算額を、令和3年3月末の人口(4,420人)世帯(2,254世帯)で割り、算出しました。

令和3年 第7回定例会(9月)

一般会計

1億5,813万円の黒字

(4,302万円の繰越財源を含む)

令和2年度決算(6会計)を認定

一般会計

予算の一部を紹介



総務費 **21億9,402万円** 前年度より 10億1,634万円増

[新型コロナウイルス感染症対策、定額給付金、防災無線放送施設整備事業、
真謝区・西崎区住環境負担軽減事業]

農林水産業費 .. **18億6,855万円**

前年度より 10億3,847万円増

[畜産総合施設整備事業、農業集落排水
事業、農業基盤整備促進事業]



浸透池と水兼農道

民生費 **14億7,400万円**

前年度より 4億8,656万円増

[村立西保育所整備事業]

教育費 **10億6,256万円**

前年度より 1億1,300万円増

[学校情報機器・ネットワーク環境整備事業、
総合運動公園整備事業(屋内体育施設)、伊
江中学校教員宿舍整備事業(用地購入)]



3学校児童生徒1人1台のノート型パソコン

商工費 **3億9,458万円** 前年度より 3,649万円増

[観光地クリーン事業、観光防災力強化支援事業、青少年旅行村リニューアル
基本計画策定事業]

土木費 **2億4,487万円** 前年度より 9億4,063万円減

[川平団地新築工事、E&Cセンターろ過式集じん機、具志排水浄化施設電気・
機械整備事業、本部港立体駐車場整備事業の4事業の完了による減]

監査委員の意見(抜粋)

最小の経費で最大の効果を

一般会計における本年度の実質単年度収支は8,546万円となった。今後も収支均衡を維持するよう最大限の努力を望む。また、昨年から続く新型コロナウイルス感染症対策や子どもの貧困対策、子育て支援を鑑みて、扶助費、補助費の拡充が求められたことや高齢化社会への対応、過疎化対策、社会資本の整備、更にはこれまで整備した施設の維持管理など住民生活に直結する行政ニーズに対して、国や県の補助金等の活用や各基金の効率的な思考が図られた事は評価される。有効な補助事業の選定及び財源確保には費用対効果など慎重を期し、計画に沿った適切な職員の配置、維持管理及び運営に努めていただくよう切望する。

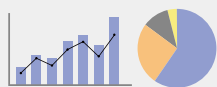


代表監査委員
具志川 豊秀



監査委員
内田 竹保

特別会計



船舶運航事業赤字決算



伊江村には、一般会計の他 **5つの特別会計**

診療所特別会計

国民健康保険会計

後期高齢者特別会計

水道事業会計

船舶運航事業会計

があり、その中でも2隻のフェリー(いえしま・ぐすく)を運営する**船舶運航事業会計**へ注目した!

船舶運航事業の純利益は、5,888万4,079円の**3年連続赤字決算**となった。

大きな要因は、新型コロナウイルス感染症の影響による観光客の渡航自粛や民家体験泊事業のキャンセルなど旅客輸送料及び自動車航送料の大幅な減とフェリーぐすくの賃借料(リース)によるものである。

旅客・自動車航送の状況

項 目	令和2年度	令和元年度	前年度比較	前年度比率
旅客輸送人数	220,291人	474,330人	▲ 254,039人	53.6%
自動車航送台数	71,609台	81,925台	▲ 10,316台	12.6%

船舶の運航状況

船 名	定期航路		臨時航回数		令和2年度	
	2年	元年	2年	元年	総航回数	率(%)
いえしま	723.0	797.5	2.5	12.5	725.5	50.9
ぐすく	699.5	761.0	0.5	23.0	700.0	49.1
計	1422.5	1558.5	3.0	35.5	1425.5	100.0

船舶運航事業の純利益額の推移

単位:円

年 度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
純利益額	▲ 58,884,079	▲ 155,246,439	▲ 37,727,556	276,973,459	129,792,931

平成30年度はフェリーぐすくの賃借料(リース)による赤字。

令和元年度・2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による赤字が大きな要因である。



※赤字決算となったものの本部港における水際対策や減便運航、船内のコロナ対策により安全・安心な運航がなされ評価する。

今後も関係機関と連携を強化し、コロナ収束に向けた安全安心な観光戦略を練って、観光誘客に尽力願いたい。

新型コロナウイルス感染症対策としてフェリーに設置した大型の空気清浄機



(令和三年九月九日)

決算審査 特別委員会

質疑



問 村税の滞納繰越額が188万2,975円減っている大きな要因は。

答 担当の固定、早期に徴収しているというテーマを持ち、徴収業務に当たった事が一番の要因である。

問 身体障害福祉費の扶助費が600万円残っているのはなぜか。

答 身体障害者等の医療費・障害者の介護給付費・施設給付費の支払いが1,600万円から2,200万円を超す場合とばらつきがある。この請求が2〜3か月後にくるといふこともあり、残が生じている。

問 学校のトイレに生理用品を設置する必要はないか。

答 小学校、中学校の生理用品については、養護教諭が保健室で準備を行い、必要な児童生徒に配布している。

トイレに常備することも以前検討したが、衛生上の問題や管理面を考えると、保健室対応で行っている。

問 船舶運航会計事業の営業外収益、3目補助金に、村負担分、国負担分、県負担分があるがその内訳は。

答 一般会計補助金5,392万1,126円の内訳は、運営補助金が3,511万4,168円、辺地債

が1,546万958円、一般会計から繰り出される児童手当等が345万6,000円の内訳である。国庫補助金8,628万2,536円は令和2年度分の国庫補助金の補助金である。
県補助金7,182万8,336円の内訳は、運営補助金は7,022万8,336円、コロナに負けない対策補助金が160万円である。

決算審査 特別委員会 委員長報告

委員長 内間 広樹



令和2年度伊江村一般会計歳入歳出決算、診療所特別会計歳入歳出決算、国民健康保険特別会計歳入歳出決算、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算、水道事業会計利益の処分及び決算、船舶運航事業会計利益の処分及び決算の各認定について本議会より審査に付託され、9月9日議長を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を開会し、審査を行った。

各会計の質疑が終了し、「討論なし」及び「異議なし」と認め、原案のとおり認定すべきものと決定しました。



伊江島を野良猫の島にしますか？しませんか？TNR事業のさらなる推進を

村長

※1
TNR事業を推進しながら、野良猫のいない島へ向け、取り組んで行く

ここを問う



一般質問の詳細については、ホームページの第7回定例会会議録をご覧ください

本事案については平成27年9月定例会、令和元年6月定例会において、それぞれ現渡久地議長と並里議員から一般質問がなされている。村においては村広報誌や防災無線を通じて飼育のマナー等啓蒙・啓発をはかり、かつ、ボランティアの方々の協力を得ながら「公益財団法人どうぶつ基金」を活用し、不妊・去勢手術を行っていることは承知している。令和元年度から令和3年度7月末現在計204匹が処置されている。これまで携わったボランティアの方々には一村民としてこの場を借りて敬意と感謝を表したい。しかしながら現状は益々増えているのが実状である。モラルの問題といえどもそれまでだが、他の自治体でも同様の事案が見受けられ社会問題化している。現在、数名のボランティアだけでは処理出来ないのは明らかである。村が足りないボランティアを募集するなど主体的に取り組むべきではないか。



民家の周囲を歩く野良猫

答 村長

これまででは捕獲・保護した猫を本島の指定された動物病院に持ち込み処置されているが、村内において無料出張不妊・去勢手術を行うことは出来ないか。

の中で継続的にはできなかった。今後、コロナ禍の状況を見ながら、「さくら猫無料不妊手術事業」制度の活用も含め実施できるような努めていきたい。

漏れ伝え聞くとところによれば牛舎付近で多くの猫が見受けられ、それが増加の一因になっているのでは？との話もある。平成29年度実施のアンケート結果には反映されているのか。

答 村長

アンケートは飼育状況及び野良猫の実態調査をすることで、猫による迷惑・苦情対策と今後のどうぶつ基金による無料不妊去勢手術に役立てる目的で実施され、野良猫の多いと思われる地域には牛舎付近も数件含まれている結果であった。令和2年10月1日からは家畜伝染病予防法の一部改正により牛舎施設敷地内含での猫等の飼育は禁止され、これまで関係課において農家の方々へチラシの配布や広報誌での周知に努めている。

これまで捕獲した猫はボランティアの方々の協力で保護・

保管されているがそれにも限界がある。村として保護・保管するシェルターを確保出来ないか。

答 村長

捕獲した猫の一時的な保護・保管はボランティアの方々の協力により行われていることに対し有難く感謝している。シェルターを設置、所有している事例はないか調査したが県内の自治体では確認できなかった。飼いの主の終生飼養や、殺処分の抑制にも繋がることから、無闇に遺棄的に持ち込まれないかなどの懸念があり、シェルターの設置については現時点では予定していないが、県外の自治体等の事例、メリットやデメリットなどについて情報収集に取り組んでいく。

つぶやき

伊江島を野良猫の島にするか？しないか？は村民の意識にかかっている。人間のエゴや都合で、もてあそばされる動物の不幸はあってはならないはず。不幸な命を産みださないためにも、①飼育は屋内で②餌を与えるなら片付けまで③不妊去勢手術をすることで野良猫から地域猫として共存できる伊江島になることを願う。

※1 TNR事業

捕獲(Trap)・去勢(Neuter)・返還(Return)を行うTNR活動(英語版)を通して野良猫の繁殖を防ぐなどの手法



あぶ え おさむ
虻江 修
議員

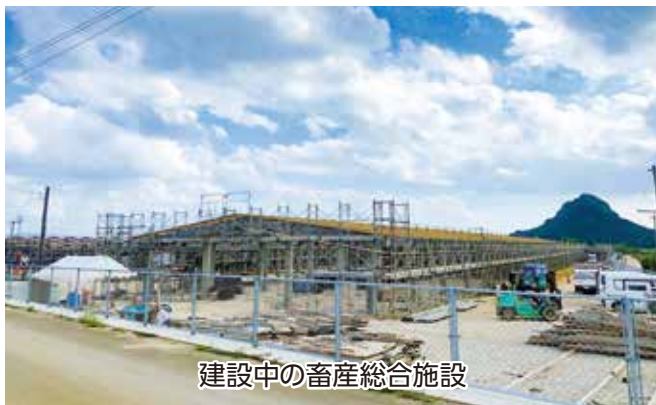
畜産総合施設整備工事及び施設運営は

村長

約60%の出来高でJAおきなわが指定管理の予定



村政の



建設中の畜産総合施設

問 畜産総合施設は、近年の畜産農家の高齢化による廃業、後継者不足等の諸課題等による肉用牛飼養頭数の減少対策として大きな期待が寄せられている。そこで次の3点について伺う。

1. 整備の進捗状況は。
2. 指定管理は。
3. 供用開始に向けての今後のスケジュールは。

答 村長

1. 令和2年度繰越工事分は、令和3年6月に土木整備工事が完成し、建築工事については、約60%の出来高で、令和3年度工事については、現在発注準備を行っている。

2. JAおきなわと予備協定について協議中であり、またまり次第、本協定に移行し議会に提案し指定管理を決定したい。

3. 令和3年度の工事発注後に畜産総合施設整備等運営委員会を開催し、利用料金の設定および運営体制の構築に向けた人材募集等の運営に必要な事項について、審議決定し、指定管理者の選定業務等を進めながら、事業完了後速やかに供用開始に向けて取り組みたい。

優良繁殖雌牛導入事業の再開は

調査研究し、取り組んでいきたい

村長

問 近年の燃油、飼料価格の高騰による子牛生産費の増大、導入資金の確保、コロナ禍による子牛価格の下落傾向など課題が多く、繁殖農家の増頭意欲が減退しており、預託施設の運営にも悪影響を及ぼすのではと大変憂慮している。

そこで畜産農家の増頭意欲を助長し、預託施設の安定的な運営を図るために、再度、一括交付金を活用した優良雌牛導入事業はできないか。

答 村長

令和4年度から新たに始まる一括交付金制度も継続の見込みであり、畜産総合施設の活用と各畜産農家の空き牛房との連携を図りつつ、村全体として高齢者の廃業防止、あるいは後継者育成につなげていく。一括交付



県外から導入した繁殖雌牛

金で優良雌牛が確保できるような方策を調査研究し、知恵を出しながら取り組み、村の畜産振興につなげたい。



山城善彦 議員

保育士採用試験の受験資格を緩和せよ

社会情勢や保育現場の状況に応じて有資格者の条件を判断したい



西保育所の様子

問 家庭の経済的な事情により保育士資格を取ったけれど幼稚園教諭の資格を取るまで学費の支援が続かなかった方達もいる。子どもが好きでこれまで勉強してきたのに採用の道が閉ざされてしまったと聞いている。保育所と幼稚園の人事交流だが、全員が保育所から幼稚園に行くこともないので「保育士だけでもいいのではないか。」

答 村長 基本的には両方の資格者だが「保育士」のみを応募資格から排除することはない。3年から5年の中では「保育士」でも採用するよう試験方法を検討することもできると考えている。

問 本村のこれまでの保育士採用受験資格を調べると「保育士かつ幼稚園教諭」や「保育士」となったり、年度により違い、最近では両方の有資格者となっている。保育士のみで資格では受験すらできない状況が続いている。保育士を採用するのに苦労していると同っているが、保育士のみ有資格者も採用試験に参加できるよう受験資格を緩和することはできないか。

答 村長

本村では幼児教育から中学校教育までの15年間、切れ目のない教育を推進することから、保育所と幼稚園間の人事交流を実施することで保育所と幼稚園のつながりをスムーズに行えるようにしてい

生まれ島を学び・伝える教育の推進を

教育長 学校、地域、家庭、行政が一体となって取り組む

問 「我が身を知って他人を知るといふ諺（ことわざ）がある。島の子ども達に自分

の生まれ育った島を知り、学ぶ大切さを知ってもらいたい。伊江島の戦中、戦後の様子、強制疎開、帰村後の復興までのことを教えていくことは平和の尊さを知ることになる。また環境問題にしてもE&Cセンターにはせっかく「見学室」が備えられ「ゴミの分別や処理方法を教育できるように」なっている。15歳で島建ちする子ども達に島の環境を教え社会性を育てる。そのような教育を推進してはどうか。

答 教育長

島の戦中、戦後の歴史に関する教育は毎年4月から6月にかけて戦跡巡りや戦争体験者を招いて講話会などを実施している。環境問題についてはE&Cセンターで施設見学を行っている。自分の足元、生まれ育った地域を知ることが極めて重要なことだと考えている。「故郷を語る人材」の育成のために今後とも学校、地域、家庭、行政が一体となって取り組んでいく。

問 戦後生まれの人口が全国で84.4%、沖縄県では89.3%となっていて、このような状況においては家庭で戦争のことを教育することはできない。学校現場で概略的なことでも教育していかなければならないと感じる。今回戦跡保存の基本計画が策定されたが戦跡を保存

し長く伝えていくことが我々に課された使命だと思う。家庭の中で戦争体験者がいない戦後生まれの時代になっているが学校現場の中で工夫して島のこと、戦争のことを少しでも教育してもらいたい。

答 村長

島の戦争の歴史を知ること、そして平和の尊さを知る教育は教育委員会、村長部局では戦跡保存をしっかりと実施して平和教育ができる体制をつくりたい。島をよく知り、明日にはばたく教育に取り組んでいきたい。



5年生の総合学習の中で民俗芸能を継承



しまぶくろよし のり
島袋義範
議員

港旧ターミナル棟2階の活用は

島袋課長

村民及び村内事業所に向けて公募を行う



テナント募集を行っている旧ターミナル2階

問 港旧ターミナル棟の2階では、食事処「とうんが」が営業していた。しかし、去年から発生した新型コロナウイルスの影響により観光客や来村者が激減、緊急事態宣言の発出で飲食業の時短営業要請など、厳しい状況が重なり、残念ながら2月末に閉店となった。

港における飲食店の撤退は、本村の観光産業にとって大きな影響を及ぼすと共に、村の経済振興にも大きな損失であることから、港旧ターミナル棟2階の活用は、重要な課題である。

港旧ターミナル棟2階の活用を早めに関係機関と検討するべきだと思うが、村の考えは。

答 村長

伊江港内の食事処の設置はコロナ収束後に向けた観光面からも重要であることから、村ホームページ等で、村民及び村内に事業所を有する方を対象とした公募等も視野に入れながら、早期に対応したい。

問 どのような条件で公募するのか。

答 商工観光課長(島袋 英樹)

面積や家賃も含め提示し、まずは村民及び村内に事業所を有する方から募集をホームページ等でやっていきたい。

村営団地の照明をLED照明に取り替えを

村長 外壁等改修工事に伴いLED照明に取り替えを行う

問 村営団地(東江前・西江前・西崎・真謝)の電気照明をLED照明に取り替える考えは。

答 村長

LED照明の取り替えについては、外壁等改修工事に伴いLED照明に取り替えの計画を立てているところであり、消費電力を抑え、入居者の経済的負担も軽減でき、省エネルギー対策に係る改善にも取り組みたい。

問 4団地は、令和7年度から令和10年度までかかる事業計画なのか。

答 建設課長(知念 利次)

令和7年度から、1年に1団地、取り替えを行うと4年間かかる為、早く取り替えができるように、県のほうに要望していきたい。

問 早めに取り替えはできないか。

答 村長

毎年度予算を編成している中で、予算の弾力性も勘案しながら、可能であれば圧縮して早めにLED照明に替えるような努力を今後もやっていきたい。



変更前

変更後



お 晴 男
並 里 議員

9月10日 第3弾タッチゅん商品券！ 全議員で経済支援を要請

(使用期間令和3年12月1日～令和4年2月28日)

新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言発令が5月23日から9月30日まで延長し、実に100日を超えました。緊急事態宣言の解除後も経済の停滞はしばらく続くことから、「村民の生活確保に向け」9月10日の第7回定例会後に全議員で協議をしました。



詳しくは、伊江島広報イーハッチャー11月号No.504をご覧ください



村においても民泊受け入れのキャンセルや宿泊施設及びタクシー等交通機関の利用激減、農水産物等の価格下落により村民生活にも更に大きな影響を及ぼすことから、全議員連名による要請書を9月10日、島袋秀幸村長へ直接手渡し、全村民を対象とした村内消費喚起商品券(1人5,000円)の配布を要請しました。

9月24日 米軍パラシュート落下事故に対し抗議

21日午後4時20分頃、米軍によるパラシュート降下訓練中に米兵2人が提供施設外の西崎区内の牧草地と海岸(シューベ)に落下。このことを受け、全議員による現場確認を22日に行った。議会を代表して渡久地政雄議長が沖縄防衛局の小野功雄局長に対し「一歩間違えば大惨事だ。村民に恐怖や不安を与え、憤りを感じる。議会としても幾度となく抗議をしてきたが一向に改善されていない。」と事故再発防止の徹底を強く求めた。



意見書 11月11日

第3号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、経済再生担当大臣、沖縄及び北方対策担当大臣へ提出。

第4号 離島振興法の改正・延長を求める意見書

現行の離島振興法が令和4年度末をもって失効することを受け、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣、内閣官房長官へ提出。

ATTENTION!
ここに注目!

第5号 海底火山噴火による噴出した漂流・漂着軽石に関する意見書を提出

下記事項を提出しました(本文省略)

記

1. 漂着軽石により損害を被った漁業や観光業等の個人や事業者への補償を行うこと。
2. 漁港や海岸に漂流・漂着した軽石の除去や清掃及び新たな軽石の侵入防止策を早急に講ずること。
3. 災害時に備え、本部港湾内にバースを確保すること。
4. 救急患者搬送時に、本村所有の救急搬送船が出港できない場合は、速やかに緊急患者空輸の措置を講ずること。
5. 軽石の利活用について調査研究を行うこと。

あて先 内閣総理大臣、内閣官房長官、国土交通大臣、
農林水産大臣、環境大臣、防衛大臣
沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄県知事

11月10日全便欠航した本部港



11月9日、島袋村長、渡久地議長が仲里全孝沖縄県議会議員を通して、沖縄県土木建築部島袋善明部長に対し、軽石除去対策について要請(10日から除去作業を開始)

伊江小学校2年生

「むらたんけん」

10月22日、2年生(22人)が生活科の学習「むらたんけん」施設見学として、役場(総務課、福祉課、農林水産課、建設課、議会事務局)を訪れ、最後に議場の見学を行いました。



選挙管理委員及び補充員紹介

任期

令和3年10月28日～
令和7年10月27日

選挙管理委員

てるや ぜんいち
照屋 善市(西 崎区) 委員長
しろま せいじ
城間 正治(東江前区) 委員長職務代理
きんじょうや え こ
金城八重子(西江前区)
あがりえ のりえ
東江 訓枝(川 平区)

補充員

あがりえ かつあき
東江 勝秋(東江上区)
き ゃ んそうけん
喜屋武宗健(阿 良区)
ながみね ひさあき
長嶺 久昭(真 謝区)
やましる きょうご
山城 京悟(西江上区)

南風原町議会議員政務活動視察

11月4日から11月5日の2日間、本村出身の南風原町議会知念富信議員を含む8人が政務活動視察として本村を訪れ、公共工事の取り組みや伊江中学校でのオンライン授業を視察しました。



伊江中学校 外国語オンライン授業

第39回 離島振興市町村議会議長全国大会 新たな沖縄振興に向けた法律の制定に関する特別決議

(内容を抜粋)

現行の沖縄振興特別措置法が令和3年度末をもって失効することから、新たな沖縄振興に向けた法律を制定されるよう、国に対し強く要請する。

全国離島振興市町村議会議長会 理事 渡久地政雄



11月16日特別決議を西銘恒三郎内閣府特命担当大臣に直接要請



11月9日Web会議の様子(自治会館 那覇市)

議決の結果

令和3年 第7回定例会

会期：9月8日（水）～9月10日（金）

議案番号	件名	議決結果
報告第13号	令和2年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告書の提出について	原案報告
報告第14号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	//
議案第44号	令和3年度伊江村一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第45号	令和3年度伊江村診療所特別会計補正予算（第2号）	//
議案第46号	令和3年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	//
議案第47号	伊江村屋内体育施設備品購入の契約について	//
議案第48号	伊江村屋内体育施設トレーニングジム室備品購入の契約について	//
議案第49号	西小学校外構改修工事（R3）の請負契約について	//
議案第50号	農業基盤整備促進事業（東江上第3地区）整備工事（R3）その1の請負契約について	//
議案第51号	西江上地区排水施設整備工事（R3）の請負契約について	//
議案第52号	伊江村立聖苑外壁工事等改修工事の請負契約について	//
認定第2号	令和2年度伊江村一般会計歳入歳出決算の認定について ※2～3ページ参照	原案認定
認定第3号	令和2年度伊江村診療所特別会計歳入歳出決算の認定について ※2ページ参照	//
認定第4号	令和2年度伊江村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について ※2ページ参照	//
認定第5号	令和2年度伊江村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について ※2ページ参照	//
認定第6号	令和2年度伊江村水道事業会計利益の処分及び決算の認定について ※2ページ参照	//
認定第7号	令和2年度伊江村船舶運航事業会計利益の処分及び決算の認定について ※2・4ページ参照	//
陳情第1号	県産品の優先使用について	原案採択

第8回臨時会

会期：10月15日（金）

議案番号	件名	議決結果
議案第53号	令和3年度伊江村一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第54号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	//
選挙第1号	選挙管理委員及び補充員の選挙について ※11ページ参照	当選

第9回臨時会

会期：11月11日（木）

議案番号	件名	議決結果
議案第55号	伊江村畜産総合施設整備工事（R3）土木の請負契約について	原案可決
議案第56号	伊江村特産品加工支援施設の指定管理者の指定について（沖縄県農業協同組合）	//
議案第57号	伊江村黒糖工場の指定管理者の指定について（沖縄県農業協同組合）	//
議案第58号	令和3年度伊江村一般会計補正予算（第7号）	//
意見書第3号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書 ※10ページ参照	//
意見書第4号	離島振興法の改正・延長を求める意見書 ※10ページ参照	//
意見書第5号	海底火山噴火による噴出した漂流・漂着軽石に関する意見書 ※10ページ参照	//

議会の活動

9月 September

- 2日: 議会運営委員会
- 3日: 総務常任委員会
- 8日～10日: 第7回伊江村議会定例会
- 10日: 村政功労被表彰者選考審査会(正副議長)
- 22日: 提供施設外へ米軍パラシュート落下事故現場確認
- 24日: 沖縄防衛局へ米軍パラシュート落下事故に対する抗議行動(議長)
- 27日: 議員全員協議会



来て見て「議会！」

10月 October

- 4日: 県町村議会議長会臨時理事会(議長/那覇市)
- 13日: 全国離島議長会理事会Web会議(議長/那覇市)
- 15日: 第8回伊江村議会臨時会
- 20日: 村行政改革推進委員会(議長・内間広樹総務委員長)
- 21日: 県町村議会議長会定例理事会・総会(議長/那覇市)
- 27日: 小笠原諸島の海底火山「福德岡ノ場」噴火による軽石の現場確認(全議)
- 29日: 外務省沖縄事務所梶田副所長役場表敬(議長)



パラシュート落下事故現場確認(西崎区内)

11月 November

- 4日: 北部広域市町村圏事務組合と公立大学法人名桜大学との懇談会(議長/名護市)
- 5日: 防火デー式(全議員)
- 8日: 経済・公営企業常任委員会
- 9日: 第39回離島振興市町村議会議長会全国大会(議長/那覇市)
沖縄県土木建築部長へ軽石問題について緊急要請(議長/那覇市)
第59回沖縄県介護保険広域連合議会臨時会(島袋義範議員/読谷村)
- 11日: 第9回伊江村議会臨時会
- 15日～16日: 西銘恒三郎内閣府特命担当大臣へ全国離島議長会より要請(議長/東京)
- 16日: 議会広報調査特別委員会(広報委員)
製糖工場火入れ式(副議長)
- 17日: 県町村監査委員協議会監査委員・職員研修会(内田竹保監査委員/那覇市)
提供施設内へ米軍パラシュート落下事故現場確認
- 26日: 第65回町村議会議長全国大会(議長/東京都)
交流都市東京都豊島区表敬(議長/東京都)
- 30日: 県町村議長会定例役員会(議長/那覇市)



内田議員宅東側に海岸漂着した軽石の現場確認



防火デー式

▶ 12月定例会予定

12月14日(火)午前10時～

傍聴を希望される方は、お気軽にお問合せ下さい。
※コロナの影響により、ご遠慮頂く場合がございます。



わたし

私がいそんを

か
書きました!

題字記入者

名前

ち ねん とよ あき
知念 豊明

生年月日

昭和16年5月10日生 80歳

行政区・屋号

西江上区・ナビトゥミ

職員からみた豊明さん

在宅利用の方です。豊明さんは、JAのガス部門で長く働かれていたガスのプロフェッショナルです。ふさと苑では、元気なオバーたちのゆんたくの聞き役で、貴重な存在です。



あの質問・質疑どうなった!? 令和3年予算審査特別委員会

ミースィ公園北側の危険な大木を撤去せよ



伐採前



伐採後

現 専門家の意見を聴取し、10月に伐採作業を行った。散歩をする皆さんに、とても好評である。

答 指摘のあった、ガズイマル、アカギ等の大木については、専門家の意見を聞きながら、対応していきたい。

質 ミースィ公園北側から大きな樹木、ガズイマル、アカギが伸びている状況である。大きな台風となると、根っこもろとも崩壊してこないかと懸念があるが、専門家の意見を聞くなど調査を依頼できないか。

ドウンチュイムニ 独り言

議員定数調査特別委員会を設置し、議員定数をどうするか、まずは各団体にアンケート調査を行い、意見集約して議論を通して決着を図る。特に若い皆さんと女性の議会参画を呼び掛けているのですが、今のところ出馬の声が聞こえない、そもそも現職議員の動向に注目しているのかも?

議員選挙はあった方が良くと思うのが多数だと感じる、多くの皆さんが出馬して、今後の伊江村のさらなる発展の為に大いに議論して、新しい発想で世界一イ島にしようではありませんか。

若い皆さん、女性の皆さんの声を村政に反映しましょう。

伊江村議会議員 内田 竹保

議会や議会広報に関してご意見やご要望をお寄せ下さい。

(0980) 49-2924 伊江村議会事務局

この印刷物は地球環境に優しい
植物油インキを使用しています。読みやすいユニバーサルデザインフォントを
使用しています。